



萌木

2月号

～自尊・立志・感動～



調布市立第七中学校

校長 山田 勝

令和6年2月16日発行

隠せない時代

副校長 北地 宏充

令和6年がスタートして、3学期ももう折り返し地点を過ぎようとしています。3年生は受験真ただ中、1・2年生も様々な行事を終えて、最後の定期考査に向けて学習の仕方・学びの成果を発揮しようと意気込んでいるところかと思えます。

さて、このところのニュースを観ていると、いろんなことが「隠せない時代」が来ていると感じています。ジャニーズ問題や宝塚問題に旧統一教会問題、直近だと政治の裏金問題や漫画原作とTVドラマのズレによる痛ましい事件など、以前だったら「何だかよく分からないくらい大きな力によってもみ消され、隠されてきた」ようなことが、どんどん明るみになってきています。また、自分のしたことを棚に上げて他人を攻撃したら、過去の自分の言動が掘り返されてそっくりそのまま跳ね返ってきているようなニュースも散見されるようになってきました。

この「隠せず明るみになっていく」「自分のしたことが跳ね返ってくる」現象は、社会が毒出しをして古い体制が変わっていく兆候ではないかとも思いますが、それと同時に、これからの時代生徒のみなさん一人ひとりにとっても、隠そうと思っても隠し切れない場面や、自分のしてしまったことが何かの形で跳ね返ってくる場面が増え、その時間や期間も短くなっていくのではないかと感じています。

いいことも悪いことも隠せないのだから、生徒のみなさんにとっても、日頃から意欲的に取り組んでいることが成果という形となって現れてくる場面が増えてくるかもしれません。あるいは、陰で手を抜いてしまっていたことや誰も見てないと思ってズルをしてしまっていたことが、今の自分にとって不満足な現象を引き起こす場面がより早くやってくるかもしれません。そのとき誰も見ていなくても、「自分」が見ています。その瞬間にみなさんがどんな想いで選んだ行動なのか、その一つ一つに自分の心の在り方が問われているのではないのでしょうか。

人生に関わるような決断に限らず、授業や部活にどのような姿勢で臨むのか、家で過ごす際に何をするか、目の前の友人にどんな言葉をかけるかなど、人生は選択の連続です。だからこそ今を生きる生徒のみなさんには、目の前のことに対して真摯に向き合い、自分や周りが心から嬉しいと思うこと、自分の成長につながることを選び行動することで、素晴らしい跳ね返りの場面を受け取ることを願っています。

今年度も残り1か月強です。学校としまして、たとえ小さな一歩でもお子様がチャレンジと成長を感じられる場面を提供したいと考えています。保護者の皆様におかれましては引き続きお子様の決断を見守っていただければ幸いです。